



「ECOPIA EP150」がオーテックジャパンの 「ノート AUTECH CROSSOVER」に新車装着

コア事業を支える「断トツ商品」の拡大
株式会社ブリヂストン

2021年11月04日

株式会社ブリヂストンは、日産自動車株式会社（以下、日産自動車）とその関連会社である株式会社オーテックジャパン（以下、オーテックジャパン）が2021年10月7日に発売したコンパクトクロスオーバー「ノート AUTECH CROSSOVER」（ノート オーテック クロスオーバー）の新車装着用タイヤとして、「ECOPIA EP150」（エコピア イーピーイチゴマル）を納入します。

オーテックジャパンの新型車「ノート AUTECH CROSSOVER」は、日産自動車の先進コンパクトカーである「ノート」をベースに、「AUTECH」ブランドのコンセプト「プレミアムスポーティ」と、SUVの機能やスタイルを融合させたコンパクトクロスオーバーモデルです。

これまでブリヂストンは、日産自動車およびオーテックジャパンとの長年にわたる共創を通じて、両社が様々な車両を通じて提供する価値の実現に貢献してきました。今回、「ノート AUTECH CROSSOVER」に装着される「ECOPIA EP150」は、サステナビリティ、モビリティの進化を見据えた、当社の「断トツ商品」※¹の一つです。転がり抵抗の低減と高いウェット性能を両立するトレッドゴムと、静粛性や乗り心地に配慮したタイヤ構造を採用することで、「ノート AUTECH CROSSOVER」のスポーティな走りと低燃費性能、快適性の両立に貢献しています。

■納入する新車装着タイヤ
「ECOPIA EP150」※²



タイヤサイズ：195/60R16 89H

■オーテックジャパン新型車
「ノート AUTECH CROSSOVER」※3



ブリヂストングループは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」をビジョンとして掲げ、中期事業計画（2021 - 2023）※4を実行しています。その中で、コア事業であるタイヤ事業の更なる強化に向けて、EV向けタイヤなど、サステナビリティ、モビリティの進化を見据えた「断トツ商品」の開発を積極的に進めています。今後も様々な車種の性能・魅力を最大限に引き出す新車装着用タイヤの開発を通じて、安心・安全で快適な、持続可能なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

※1 「断トツ」とは企業としての目標を指します。

※2 ホイールは新車装着品とは異なります。

※3 車両画像は、本ニュースリリース用に当社が株式会社オーテックジャパンより利用許諾を得たものとなります。
転載、転用を一切禁じます。

※4 中期事業計画（2021-2023）進捗

<https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/strategy/index.html>

以上